

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-54	高等学校	情報	情報デザイン	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	情報 705	情報デザイン		

1. 編修の基本方針

- (1) 構成・配列は、おおよそ学習指導要領の構成・配列によった。
- (2) 情報コンテンツを制作するために、多くの作品を掲載した。いくつかの作品には特定の企業や団体によるものがあり、企業名(文字)が入っていたり、特定の企業が限定されたりするものがあるが、その文字も含めて情報を伝達するためのデザインとなっているため、デザインの同一性を失わないようそのまま掲載をしている。
- (3) 左ページを本文、右ページをイラスト・図版とした。一部の作品を除き、作者の意図を生徒が理解できるよう説明を設けた。
- (4) 具体的な事例を入れることにより、デザインがどのように活用されているかについて学習できるようにした。
- (5) 本文の随所に「Let's try」を設け、自ら考え、判断しながら課題を解決できる能力を高められるよう配慮した。
- (6) 第1章では、社会におけるデザインを例にあげ、デザインが社会にどのように影響を与えているのか、デザインの歴史とともに学べるように構成した。
- (7) 第2章では、実習や作品鑑賞などを通して、デザインの造形表現や人間心理、構成手法などに関する基礎的な知識と技術を習得できるように配慮した。
- (8) 第3章では、デザインの視点から問題を解決する手法について構成した。
- (9) デザインの世界を高校生に身近に感じてもらい、関心をもってもらうため、巻末に「空想デザイン会社」を掲載した。
- (10) 見返し1～2では、本文で扱っている図版を中心に掲載したインフォグラフィックスの年表を掲載した。
- (11) 見返し3～4では、本文の1章・2章でそれぞれ扱いきれなかった内容を補う図解で構成した。
- (12) 見返し5～6では、実際のポスターやWebサイトを制作する際に重要となる「紙面の余白」と「グリッド」について、図解を用いて構成した。

2. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 デザイン・情報・造形の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を表現する技術，伝達する技術が歴史の中で進化してきたことを学ぶことにより，伝統を尊重する態度を養うよう配慮した(第5号)。 ・ピクトグラムなど，異文化でも意味を共有できるものについて学習することにより，他国と情報を共有し，国際社会の発展に貢献する心構えを身に付けるようにした(第5号)。 ・公共の精神を養えるよう，情報を発信する際のコミュニケーションの基礎について適宜取り上げた(第3号)。 	<p>p. 18～23</p> <p>p. 18～23</p> <p>p. 26～28</p>
第2章 デザインと表現	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインされたものの造形要素や色の意味など，幅広い知識を身に付けられるように配慮した。(第1号)。 ・自然現象を観察し，そこから造形やデザインの発想につながる要素を見つけられるように配慮している(第4号)。 ・身近な生活のデザイン例をもとに，対象となる人を意識しながら自ら作成をすることにより，表現力や造形力を身に付けることができるようにした。(第2号)。 	<p>p. 30～43</p> <p>p. 54～57</p> <p>p. 132～149</p>
第3章 デザインの実際	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に身近な例を，イラストを用いて取り上げることで，学習内容と生活とが関連付けられるように配慮した(第2号)。 	<p>p. 144～p. 158</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-54	高等学校	情報	情報デザイン	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	情報 705	情報デザイン		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

伝えたい情報を確実に伝えるために、情報をデザインすることを生徒に理解させ、基礎的な知識と技術を習得できるように留意した。

図やイラスト、グラフ、表などを多数掲載することにより、視覚面からも理解を促すよう工夫をした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	箇 所	配当 時数
1章1節 デザインって何 だろう	(1) ア 社会における情報デザインの役割	p. 6～p. 15	4
1章2節 何をデザインす るのか	(1) イ 情報デザインの対象	p. 16～p. 28	4
2章1節 デザインの造形 要素	(2) ア 情報デザインにおける表現の要素 (2) イ 表現手法と心理に与える影響	p. 30～p. 53	12
2章2節 観察と表現	(2) ウ 対象の観察と表現	p. 54～p. 67	8
2章3節 造形要素の構成	(2) エ 情報伝達やコミュニケーションの演出	p. 68～p. 84	10
3章1節 デザインの検討	(3) ア 情報の収集と検討 (3) イ コンセプトの立案 (3) ウ 情報の構造化と表現	p. 86～p. 111	12
3章2節 デザインの活用	(4) ア 情報産業における情報デザインの役割 (4) イ ビジュアルデザイン (4) ウ インタラクティブメディアのデザイン	p. 112～p. 131	12
総合演習 1 情報の理解を助けるデザイ ン		p. 132～p. 141	4
総合演習 2 ショップをデザインする		p. 142～p. 149	4
		計	70